

平成23年度 財政状況資料集

総括表（市町村）

都道府県名	千葉県		市町村類型	IV-1	指定団体等の指定状況		区分	平成23年度(千円)	平成22年度(千円)	区分	平成23年度(千円・%)	平成22年度(千円・%)	
					財政健全化等	×							
市町村名	市川市		地方交付税種地	1-6	財源超過	○	中部	歳入総額	134,939,148	133,362,105	実質収支比率	3.0	4.3
					首都	○		歳出総額	132,005,054	129,355,606	経常収支比率	92.1	90.9
					近畿	×		歳入歳出差引	2,934,094	4,006,499	(※1)	(94.7)	(94.5)
					中部	×		翌年度に繰越すべき財源	582,640	619,272	標準財政規模	77,501,871	78,928,434
					過疎	×		実質収支	2,351,454	3,387,227	財政力指数	1.09	1.14
人口	22年国調(人)	473,919	産業構造(※5)		低開発	×	単年度収支	-1,035,773	-2,153,583	公債費負担比率	9.2	9.4	
	17年国調(人)	466,608			過疎	×	積立金	13,370	1,394,361	健全化判断比率			
	増減率(%)	1.6			山振	×	繰上償還金	-	476,500	実質赤字比率	-	-	
住民基本台帳人口	24.03.31(人)	458,679	第1次	1,243	1,550	低開発	×	積立金取崩し額	85,374	-	-	-	
	23.03.31(人)	461,014		0.6	0.7	指数表選定	○	実質単年度収支	-1,107,777	-282,722	実質公債費比率	2.0	2.3
	増減率(%)	-0.5	第2次	35,824	44,943	標準財政収入額		基準財政収入額	57,950,555	56,926,181	将来負担比率	7.1	18.0
	面積(km ²)	57.40		17.6	19.2	基準財政需要額		基準財政需要額	57,038,853	53,819,603	資金不足比率(※4)		
人口密度(人/km ²)	8,256	第3次	166,583	179,830	標準税収入額等		標準税収入額等	75,220,127	74,195,382				
世帯数(世帯)	220,582		81.8	76.7	經常経費充当一般財源等		經常経費充当一般財源等	73,785,186	73,403,662				
職員の状況													
特別職等	区分	定数	1人あたり平均給料月額(百円)	区分	職員数(人)	給料月額(百円)	1人あたり平均給料月額(百円)	地方債現在高	69,316,231	71,076,290			
	市区町村長	1	10,160	一般職員	2,916	10,480,104	3,594	うち公的資金	52,578,232	55,624,628			
	副市区町村長	2	8,370	うち消防職員	512	1,758,208	3,434	債務負担行為額(支出予定額)	27,289,852	29,002,883			
	教育長	1	7,280	うち技能労務職員	293	1,063,883	3,631	収益事業収入	-	-			
	議会議長	1	7,240	教育公務員	74	269,164	3,637	土地開発基金現在高	5,529,906	5,528,410			
	議会副議長	1	6,520	臨時職員	-	-	-	財政調整基金	8,118,237	8,190,241			
	議会議員	40	6,040	合計	2,990	10,749,268	3,595	積立金現在高	212,626	212,223			
				ラสบライズ指数(※6)	112.4	(103.9)		減債基金	7,717,567	7,755,016			
								その他特定目的基金					
	一般会計等の一覧												
項番	会計名	事業会計の一覧		公営企業(法適)の一覧		公営企業(法非適)の一覧		関係する一部事務組合等一覧		地方公社・第三セクター等一覧			
(1)	一般会計	(2)	国民健康保険特別会計	(6)	病院事業会計	(7)	地方卸売市場事業特別会計	(10)	千葉県市町村総合事務組合(一般会計)	(16)	市川市清掃公社	(※3)	
		(3)	介護保険特別会計			(8)	下水道事業特別会計	(11)	千葉県市町村総合事務組合(千葉県自治会館管理運営特別会計)	(17)	市川市緑の基金		
		(4)	後期高齢者医療特別会計			(9)	市川駅南口地区市街地再開発事業特別会計	(12)	千葉県市町村総合事務組合(千葉県自治研修センター特別会計)	(18)	市川市文化振興財団		
		(5)	介護老人保健施設特別会計					(13)	千葉県市町村総合事務組合(千葉県市町村交通災害共済特別会計)	(19)	本八幡ビル		
								(14)	千葉県後期高齢者医療広域連合(一般会計)	(20)	市川市土地開発公社		
								(15)	千葉県後期高齢者医療広域連合(後期高齢者医療特別会計)	(21)	北総鉄道株式会社		

(注釈) ※1: 経常収支比率の()内の数値は、「減収補償(特例分)」及び「臨時財政対策債」を除いて算出したものである。
 ※2: 各会計の一覧は主な会計(10会計まで)を記載している。
 ※3: 地方公共団体が損失補填等を行っている出資法人で、健全化法の算出対象となっている団体については、「地方公社・第三セクター等」の団体名に○印を付与している。
 ※4: 資金不足比率欄には、資金が不足している会計のみ記載している。
 ※5: 産業構造の比率は、分母を就業人口総数とし、平成22年国調は分類不能の産業を除き、平成17年国調は分類不能の産業を含んでいる。
 ※6: ラสบライズ指数の()内の数値は、国家公務員の時限的(2年間)給与改定特例法による措置が無いとした場合の値である。

(1) 普通会計の状況（市町村）

歳入の状況（単位 千円・％）					地方税の状況（単位 千円・％）					歳出の状況（単位 千円・％）				
区分	決算額	構成比	経常一般財源等	構成比	区分	収入済額	構成比	超過課税分	区分	決算額 (A)	構成比	(A)のうち普通建設事業費	(A)のうち充当一般財源等	
地方税	77,341,052	57.3	71,109,789	91.3	普通税	69,676,772	90.1	212,277	議会費	937,786	0.7	-	937,785	
地方譲与税	817,210	0.6	817,210	1.0	法定普通税	69,676,772	90.1	212,277	総務費	14,976,282	11.3	1,199,889	13,457,410	
利子割交付金	207,574	0.2	207,574	0.3	市町村民税	39,060,737	50.5	212,277	民生費	52,888,258	40.1	1,077,594	26,722,250	
配当割交付金	243,598	0.2	243,598	0.3	個人均等割	732,218	0.9	-	衛生費	15,524,416	11.8	2,617,330	12,337,059	
株式等譲渡所得割交付金	50,102	0.0	50,102	0.1	所得割	34,822,850	45.0	-	労働費	174,919	0.1	22,291	246,155	
地方消費税交付金	3,596,822	2.7	3,596,822	4.6	法人均等割	994,362	1.3	-	農林水産業費	281,715	0.2	-	159,414	
ゴルフ場利用税交付金	-	-	-	-	法人税割	2,511,307	3.2	212,277	商工費	1,485,862	1.1	15,377	506,675	
特別地方消費税交付金	-	-	-	-	固定資産税	27,755,599	35.9	-	土木費	14,581,278	11.0	7,440,711	9,056,345	
自動車取得税交付金	236,983	0.2	236,983	0.3	うち純固定資産税	27,654,372	35.8	-	消防費	6,385,714	4.8	1,199,094	5,684,500	
軽油引取税交付金	-	-	-	-	軽自動車税	212,742	0.3	-	教育費	15,142,713	11.5	3,780,387	12,201,131	
地方特例交付金	971,000	0.7	971,000	1.2	市町村たばこ税	2,646,732	3.4	-	災害復旧費	709,543	0.5	-	558,393	
児童手当及び子ども手当特例交付金	506,042	0.4	506,042	0.6	鉱産税	-	-	-	公債費	8,916,568	6.8	-	8,568,654	
減収補填特例交付金	464,958	0.3	464,958	0.6	特別土地保有税	962	0.0	-	諸支費	-	-	-	-	
地方交付税	867,557	0.6	-	-	法定外普通税	-	-	-	前年度繰上充用金	-	-	-	-	
普通交付税	-	-	-	-	目的税	7,664,280	9.9	-	歳出合計	132,005,054	100.0	17,352,673	90,435,771	
特別交付税	305,430	0.2	-	-	法定目的税	7,664,280	9.9	-						
震災復興特別交付税	562,127	0.4	-	-	入湯税	-	-	-						
(一般財源計)	84,331,898	62.5	77,233,078	99.1	事業所税	1,433,017	1.9	-						
交通安全対策特別交付金	55,376	0.0	55,376	0.1	都市計画税	6,231,263	8.1	-						
分担金・負担金	917,146	0.7	-	-	水利地益税等	-	-	-						
使用料	3,411,184	2.5	501,930	0.6	法定外目的税	-	-	-						
手数料	1,105,537	0.8	-	-	旧法による税	-	-	-						
国庫支出金	22,684,526	16.8	-	-	合計	77,341,052	100.0	212,277						
国有提供交付金(特別区財調交付金)	-	-	-	-										
都道府県支出金	7,178,333	5.3	-	-										
財産収入	190,020	0.1	120,933	0.2										
寄附金	586,991	0.4	-	-										
繰入金	1,331,008	1.0	-	-										
繰越金	4,006,499	3.0	-	-										
諸収入	3,080,630	2.3	13,470	0.0										
地方債	6,060,000	4.5	-	-										
うち減収補填債(特例分)	-	-	-	-										
うち臨時財政対策債	2,200,000	1.6	-	-										
歳入合計	134,939,148	100.0	77,924,787	100.0										

区分	平成23年度	平成22年度
徴収率 現・計	98.2	93.2
(%) 年	97.6	91.2
	98.7	95.1
	98.2	94.3

公営事業等への繰出		国民健康保険事業会計の状況	
合計	12,568,711	実質収支	972,230
下水道	1,949,214	再差引収支	-1,824,524
病院	430,381	加入世帯数(世帯)	74,862
介護サービス	410,000	被保険者数(人)	124,037
市場	15,000	被保険者	88
国民健康保険	4,150,000	1人当り	74
その他	5,614,116	保険税(料)収入額	88
		国庫支出金	74
		保険給付費	211

区分	決算額	構成比	充当一般財源等	経常経費充当一般財源等	経常収支比率
義務的経費計	71,132,145	53.9	46,058,098	45,155,153	56.4
人件費	30,303,797	23.0	28,394,384	27,499,959	34.3
うち職員給	21,555,181	16.3	19,713,297	-	-
扶助費	31,915,497	24.2	9,098,777	9,090,257	11.3
公債費	8,912,851	6.8	8,564,937	8,564,937	10.7
元利償還金	8,912,851	6.8	8,564,937	8,564,937	10.7
うち元金	7,820,059	5.9	7,517,139	7,517,139	9.4
うち利子	1,092,792	0.8	1,047,798	1,047,798	1.3
一時借入金利子	-	-	-	-	-
その他の経費	42,810,693	32.4	34,980,169	28,630,033	35.7
物件費	23,703,908	18.0	18,822,792	17,166,562	21.4
維持補修費	1,318,081	1.0	1,011,874	875,424	1.1
補助費等	4,220,891	3.2	3,687,390	3,079,222	3.8
うち一部事務組合負担金	117,070	0.1	15,116	8,442	0.0
繰出金	12,138,330	9.2	11,149,125	7,508,825	9.4
積立金	437,983	0.3	308,988	-	-
投資・出資金・貸付金	991,500	0.8	-	-	-
前年度繰上充用金	-	-	-	-	-
投資的経費計	18,062,216	13.7	9,397,504	-	-
うち人件費	1,035,964	0.8	1,029,512	-	-
普通建設事業費	17,352,673	13.1	8,839,111	-	-
うち補助	7,095,722	5.4	946,942	-	-
うち単独	10,152,777	7.7	7,841,295	-	-
災害復旧事業費	709,543	0.5	558,393	-	-
失業対策事業費	-	-	-	-	-
歳出合計	132,005,054	100.0	90,435,771	-	-

(注釈)
 普通建設事業費の補助事業費には受託事業費のうちの補助事業費を含み、
 単独事業費には同級他団体施行事業負担金及び受託事業費のうちの単独事業費を含む。

(2)各会計、関係団体の財政状況及び健全化判断比率（市町村）

平成23年度 千葉県市川市

一般会計等の財政状況(単位:百万円)

会計名	歳入	歳出	形式収支	実質収支	他会計等からの繰入金	地方債現在高	備考
1 一般会計	134,697	132,104	2,593	2,351	905	69,782	
2							
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
16							
17							
18							
19							
20							
21							
22							
23							
24							
25							
26							
27							
28							
29							
30							
31							
32							
33							
34							
35							
36							
37							
38							
39							
40							
41							
42							
43							
44							
45							
46							
47							
48							
49							
50							
51							
52							
53							
54							
55							
56							
57							
58							
59							
60							
61							
62							
63							
64							
65							
66							
67							
68							
69							
70							
71							
72							
73							
74							
75							
76							
77							
78							
79							
80							
81							
82							
83							
84							
85							
86							
87							
88							
89							
90							
91							
92							
93							
94							
95							
96							
97							
98							
99							
100							
101							
102							
103							
104							
105							
106							
107							
108							
109							
110							
111							
112							
113							
114							
115							
116							
117							
118							
119							
120							
121							
122							
123							
124							
125							
126							
127							
128							
129							
130							
131							
132							
133							
134							
135							
136							
137							
138							
139							
140							
141							
142							
143							
144							
145							
146							
147							
148							
149							
150							
151							
152							
153							
154							
155							
156							
157							
158							
159							
160							
161							
162							
163							
164							
165							
166							
167							
168							
169							
170							
171							
172							
173							
174							
175							
176							
177							
178							
179							
180							
181							
182							
183							
184							
185							
186							
187							
188							
189							
190							
191							
192							
193							
194							
195							
196							
197							
198							
199							
200							
201							
202							
203							
204							
205							
206							
207							
208							
209							
210							
211							
212							
213							
214							
215							
216							
217							
218							
219							
220							
221							
222							
223							
224							
225							
226							
227							
228							
229							
230							
231							
232							
233							
234							
235							
236							
237							
238							
239							
240							
241							
242							
243							
244							
245							
246							
247							
248							
249							
250							
251							
252							
253							
254							
255							
256							
257							
258							
259							
260							
261							
262							
263							
264							
265							
266							
267							
268							
269							
270							
271							
272							
273							
274							
275							
276							
277							
278							
279							
280							
281							
282							
283							
284							
285							
286							
287							
288							
289							
290							
291							
292							
293							
294							
295							
296							
297							
29							

(3) 市町村財政比較分析表(普通会計決算)

人口	458,679人 (H24.3.31現在)	実収赤字比率	-%
面積	57.40km ²	実収赤字比率	-%
人口総数	134,939,148千円	実収公債費比率	2.0%
歳入総額	132,005,054千円	実収将来負担比率	7.1%
歳出総額	2,351,454千円		
実収支	77,501,871千円	市町村類型	H19 IV-3 H20 IV-3 H21 IV-3 H22 IV-3 H23 IV-1
標準財政規模	69,316,231千円	(年度毎)	
地方債現在高			

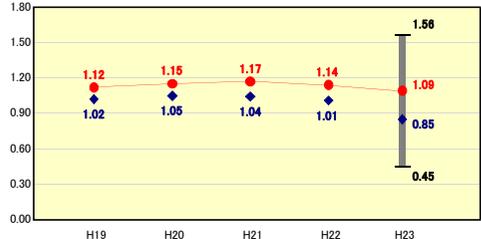


※市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。
 ※平成24年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実収公債費比率及び将来負担比率を算出してない団体については、グラフを表記しない。
 ※充当可能財源等が将来負担額を上回っている団体については、将来負担比率のグラフを表記しない。
 ※類似団体内平均値は、充当可能財源等が将来負担額を上回っている団体を含めた加重平均であるため、最小値を下回ることがある。
 ※「人件費・物件費等の状況」の決算額は、人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし、人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

財政力

財政力指数 [1.09]

類似団体内順位 6/52 全国平均 0.51 千葉県平均 0.74

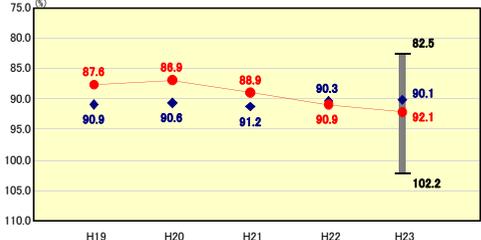


財政力指数の分析欄
 個人市民税をはじめとする市税収入が歳入全体に占める割合が高く、財政力指数は類似団体平均値を上回っている。しかし、前年度比較では、基準財政収入額と基準財政需要額の乖離が22年度では31億1千万円であったのに対し、23年度では9億1千万円とその差は22億円も縮まった。
 今後も社会福祉費や生活保護費を主な要因として基準財政需要額が伸びて行く一方で、市税収入の大きな伸びは期待できないことと連動して基準財政収入額が低迷する見込みであることから、財政力指数は低下していくと予測している。

財政構造の弾力性

経常収支比率 [92.1%]

類似団体内順位 38/52 全国平均 90.3 千葉県平均 91.0

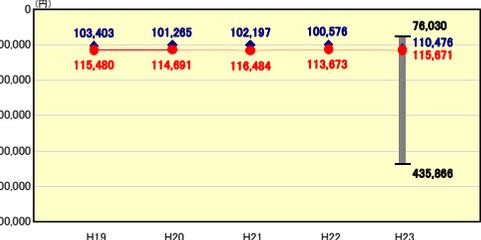


経常収支比率の分析欄
 類似団体平均値が90.1%であるのに対し、本市は92.1%と、22年度に引き続いて類似団体平均値を上回ることとなった。
 これは、本市の経常収支比率が3年連続して悪化しているためであるが、その背景としては、人件費は減少傾向が継続しているものの、公債費で臨時財政対策債の償還額が増加したことや、下水道事業特別会計や介護保険事業特別会計などへの繰入金が増加したこと等により、歳出要因で前年比0.5ポイント悪化したこと、また、臨時財政対策債の発行が前年度と比べ8億円の減となったことなどにより、歳入要因でも0.7ポイント悪化させたことがある。
 扶助費の増加傾向も今後もしばらく続くことと予測されることから、経常収支比率の悪化を食い止めるため、市税収入をはじめとする自主財源の確保に努める。

人件費・物件費等の状況

人口1人当たり人件費・物件費等決算額 [115,671円]

類似団体内順位 38/52 全国平均 119,477 千葉県平均 110,124

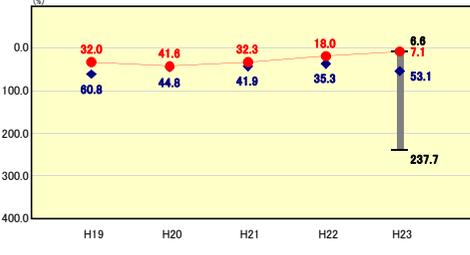


人口1人当たり人件費・物件費等決算額の分析欄
 平成10年度まで行政需要の拡大に対し、職員採用をもって対応し、直営で行ってきた行政サービスがあることから、職員数が類似団体平均値より多いこと、また、職員数の抑制に伴う委託化やIT化の推進により物件費が増加傾向にあることから、人件費・物件費等の額は類似団体平均値を上回っており、前年度比較では、人件費、維持補修費は減少したものの物件費が大幅に増加となったことから人口1人当たりの人件費・物件費等の決算額は増加した。
 今後とも定員適正化計画等に基づき職員数や事務事業の見直しを進め、人件費・物件費等の適正化に努める。

将来負担の状況

将来負担比率 [7.1%]

類似団体内順位 10/52 全国平均 69.2 千葉県平均 77.3

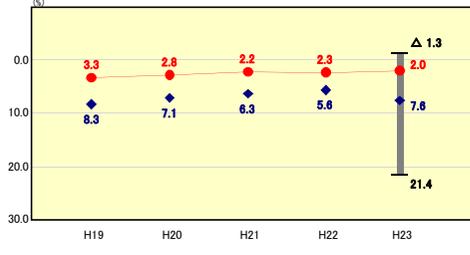


将来負担比率の分析欄
 算定の分子である将来負担額において、地域コミュニティゾーン整備事業用地取得費の償還が進行したことから、債務負担行為支出予定額が前年度比で大きく減額となったこと等により、本市の将来負担比率も10.9ポイント改善し7.1%となり、類似団体平均値との比較においても大きく下回った。
 これは、継続的に取り組んできた市債の計画的活用等の効果によるものであり、今後も将来債務を累増させない範囲内で市債の活用を図り、数値の保持に努める。

公債費負担の状況

実収公債費比率 [2.0%]

類似団体内順位 5/52 全国平均 9.9 千葉県平均 9.5

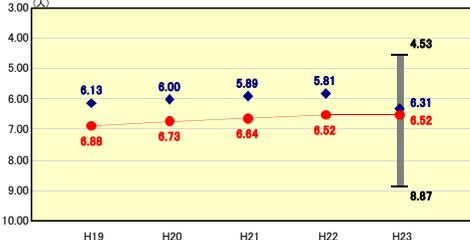


実収公債費比率の分析欄
 23年度は、算定の分母となる標準財政規模が減少したことや、分子となる公債費に準ずる債務負担行為償還額において東京ベイ・浦安市川医療センター整備事業補助金の償還が大きく増加したこと等により、値は前年度より若干悪化したものの、類似団体平均値を大きく下回る2.0%と良好な水準を維持している。
 これは、継続的に取り組んできた市債の計画的活用等の効果によるものであり、今後も将来債務を累増させない範囲内で市債の活用を図り、数値の保持に努める。

定員管理の状況

人口千人当たり職員数 [6.52人]

類似団体内順位 32/52 全国平均 7.17 千葉県平均 6.78

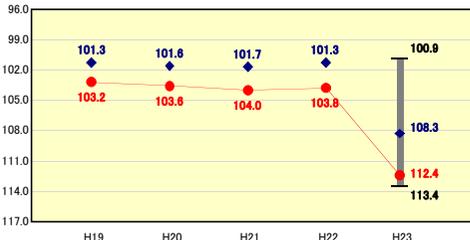


人口千人当たり職員数の分析欄
 行財政改革の一環として、これまで3回にわたる定員適正化計画を策定し、定員の適正化に取り組んできた。その結果、14年間で839人の正規職員を削減したものの、いまだ類似団体平均値を上回る状況にある。
 これは、民生部門において直営施設が多いこと、土木部門において他の団体にはない動植物園への職員配置、都市計画道路整備が本格化していることによる関係部署への職員配置などが影響していると分析している。
 これまでの定員適正化計画の成果を踏まえ、今後も効率的かつ効果的な行政運営を行うために、第3次定員適正化計画に基づき、更なる定員の適正化に努める。

給与水準 (国との比較)

ラスパイルス指数 [112.4]

類似団体内順位 51/52 全国市平均 108.9 全国町村平均 103.3



ラスパイルス指数の分析欄
 現行の給料表は年功序列的な体系となっており、経験年数の長い職員が給与水準を引き上げることから、類似団体の中でも比較的高い水準となっている。
 今後も、人事院勧告を受けた国家公務員の給与改定等に準拠しながら、高齢層の職員給与の抑制等を図り、適正な給与水準となるよう努める。

(4)-1 市町村経常経費分析表(普通会計決算)

平成23年度

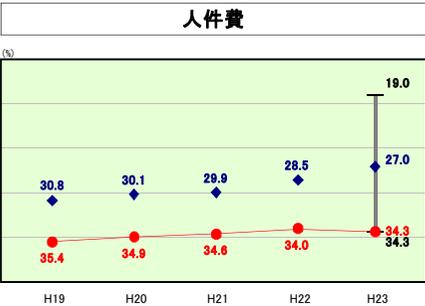
千葉県市川市

経常収支比率の分析

人面	口	458,679	人(H24.3.31現在)	実	質	赤	字	比	率	-	%
歳入	歳出	57,40	k㎡	速	結	実	質	赤	字	-	%
歳入	歳出	134,939,148	千円	達	算	公	債	費	比	2.0	%
歳入	歳出	132,005,054	千円	算	得	来	負	担	比	7.1	%
歳入	歳出	2,351,454	千円	率	率	率	率	率	率		
歳入	歳出	77,501,871	千円	率	率	率	率	率	率		
歳入	歳出	69,316,231	千円	率	率	率	率	率	率		



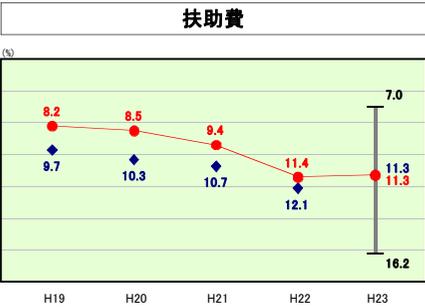
※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。



類似団体内順位 52/52 全国平均 25.4 千葉県平均 29.2

人件費の分析欄

人件費に係る経常収支比率は、34.3%と類似団体平均値に比べ高い水準となっている。これは、平成10年度まで行政需要の拡大に対し職員採用をもって対応し、保育園、社会福祉施設など市直営で行ってきた行政サービスがあるため、職員数が類似団体平均値より多いこと、経験年数の長い職員が給与水準を引き上げていることなどが要因であると分析している。今後は、指定管理者制度を活用した委託化の進展や人事院勧告を受けた国家公務員の給与改定等に準拠する給与水準の引き下げ等により、人件費を削減させるよう努める。



類似団体内順位 26/52 全国平均 10.5 千葉県平均 10.0

扶助費の分析欄

扶助費に係る経常収支比率は11.3%と類似団体平均値と同水準となっており、また、前年度に比べ微減となっている。経常一般財源ベースでの扶助費が微減となったことが主な要因であるが、扶助費全体では前年度比で5.6%の増加となっていることから引き続き過度に財政を圧迫することがないよう努めていく。



類似団体内順位 5/52 全国平均 19.0 千葉県平均 16.2

公債費の分析欄

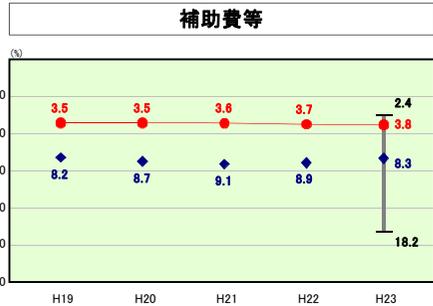
前年度比較では平成19年度に借入した臨時財政対策債の元金償還が始まったこと等により0.3ポイント上昇したものの、財政健全化緊急3か年計画(平成11年度～13年度)での市債発行の適正化、繰上償還の実施、また、第2次及び第3次財政健全化計画における将来債務を累増させない範囲内での市債活用に取り組んだ効果により、類似団体平均値を5.4ポイント下回っている。今後も、償還費用が財政を圧迫することのないよう、緊急度、住民ニーズを的確に把握した事業選択などに留意し、将来債務を累増させない範囲内での市債活用に努める。



類似団体内順位 49/52 全国平均 13.1 千葉県平均 16.5

物件費の分析欄

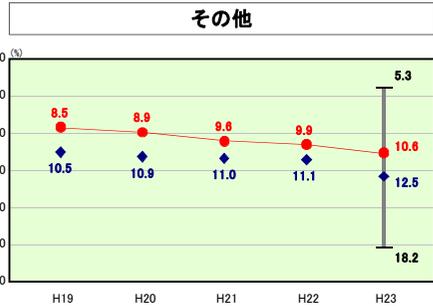
物件費に係る経常収支比率は21.4%と類似団体平均値に比べ高い水準となっている。これは公立保育園などの直営施設や各種事業に携わる定数外職員の賃金が類似団体に比べ多くなっていること、また、施設管理の委託化やシステム構築費等のIT関連経費の増加等によるものである。物件費に係る比率は、平成19年度以降連続して比率が上昇していたが平成22年度より減少しており、今後も委託内容等の精査を進め費用の削減に努める。



類似団体内順位 10/52 全国平均 10.1 千葉県平均 8.0

補助費等の分析欄

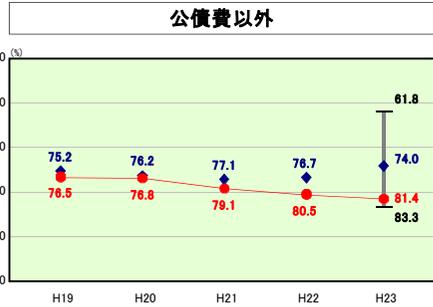
補助費等に係る経常収支比率は3.8%と類似団体の平均値に比べ低い水準となっている。これは、平成15年9月に補助金支出の妥当性を審査するための基準として「市川市補助金の交付に関する基準」を制定し、以降、同基準に基づき全庁的に補助金交付の適正化に取り組んできたことなどによる効果である。今後も、引き続き補助金支出の適正化に努める。



類似団体内順位 11/52 全国平均 12.2 千葉県平均 11.1

その他の分析欄

その他に係る経常収支比率は10.6%と類似団体の平均値に比べ低い水準となっている。これは、資格の適正化や地域的な特性などにより、国保会計、介護保険会計等に対する繰出額が類似団体に比べ低額となっていることが主な要因である。公営事業会計については、独立採算が原則であることから、今後も引き続き普通会計からの負担額の適正化に努める。



類似団体内順位 48/52 全国平均 71.3 千葉県平均 74.8

公債費以外の分析欄

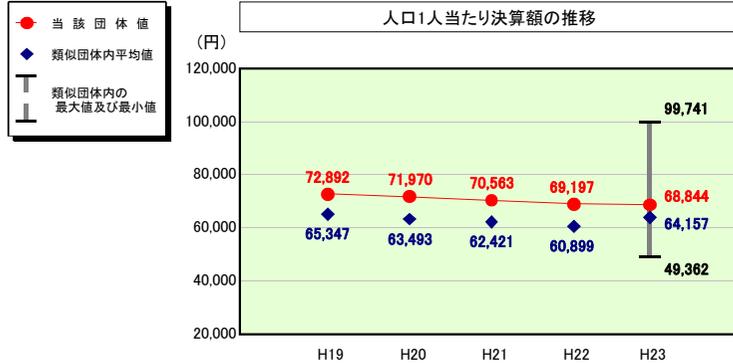
公債費に係る経常収支比率がほぼ横ばいで推移しているにも関わらず、本市の経常収支比率の悪化傾向が続いていることから、その要因は公債費以外によるものであると言える。特に、扶助費と繰出金が数値を押し上げていることが見て取れるが、これらの増加傾向はしばらく続くことと予測されることから、経常収支比率の悪化を食い止める健全な財政運営を図るよう、市税収入をはじめとする自主財源の確保に努める。

(4)-2 市町村経常経費分析表(普通会計決算)

平成23年度

千葉県市川市

人件費及び人件費に準ずる費用の分析



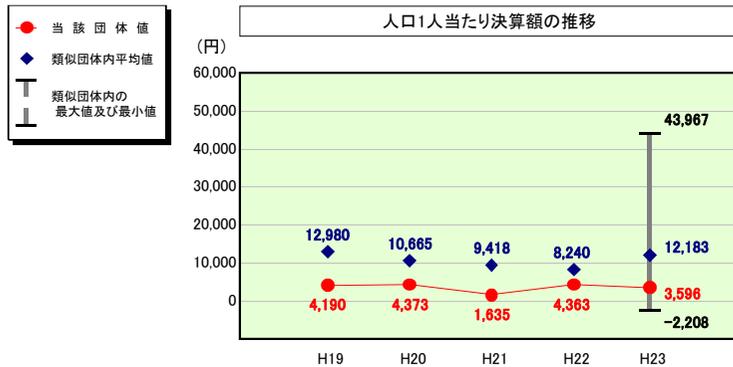
人件費及び人件費に準ずる費用

	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額		
		当該団体(円)	類似団体平均(円)	対比(%)
人件費	30,303,797	66,068	61,658	▲ 7.2
賃金(物件費)	2,319,026	5,056	3,520	▲ 43.6
一部事務組合負担金(補助費等)	3,421	7	1,858	▲ 99.6
公営企業(法適)等に対する繰出し(補助費等)	229,958	501	761	▲ 34.2
公営企業(法適)等に対する繰出し(投資及び出資金・貸付金)	-	-	-	-
公営企業(法非適)等に対する繰出し(繰出金)	991,031	2,161	2,354	▲ 8.2
事業費支弁に係る職員の人件費(投資的経費)	1,035,964	2,259	1,206	▲ 87.3
▲退職金	▲ 3,305,918	▲ 7,207	▲ 7,200	0.1
合計	31,577,279	68,844	64,157	7.3

参考

	当該団体	類似団体平均	対比(差引)
人口1,000人当たり職員数(人)	6.52	6.31	0.21
ラスパイレズ指数	112.4	108.3	4.1

公債費及び公債費に準ずる費用の分析

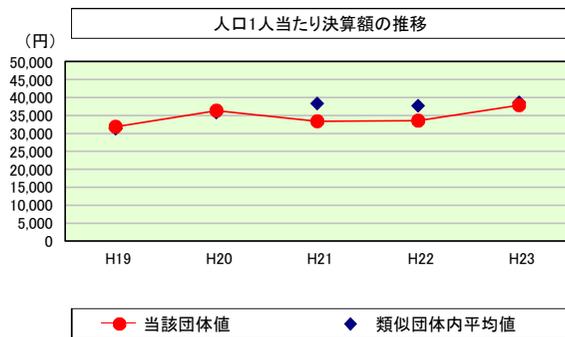


公債費及び公債費に準ずる費用(実質公債費比率の構成要素)

	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額		
		当該団体(円)	類似団体平均(円)	対比(%)
元利償還金の額 (繰上償還額等を除く)	8,350,812	18,206	34,173	▲ 46.7
積立不足額を考慮して算定した額	-	-	-	-
満期一括償還地方債の一年当たりの元金償還金に相当するもの (年度割相当額)	83,333	182	43	323.3
公営企業に要する経費の財源とする地方債の償還の財源に 充てたと認められる繰入金	1,490,392	3,249	9,123	▲ 64.4
一部事務組合等の起こした地方債に充てたと認められる 補助金又は負担金	-	-	1,231	-
公債費に準ずる債務負担行為に係るもの	2,236,171	4,875	1,805	170.1
一時借入金利子 (同一団体における会計間の現金運用に係る利子は除く)	-	-	5	-
▲特定財源の額	▲ 3,090,174	▲ 6,737	▲ 7,902	▲ 14.7
▲地方債に係る元利償還金及び準元利償還金に要する経費として 普通交付税の額の算定に用いる基準財政需要額に算入された額	▲ 7,421,187	▲ 16,179	▲ 26,295	▲ 38.5
合計	1,649,347	3,596	12,183	▲ 70.5

※平成24年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

(参考) 普通建設事業費の分析



普通建設事業費

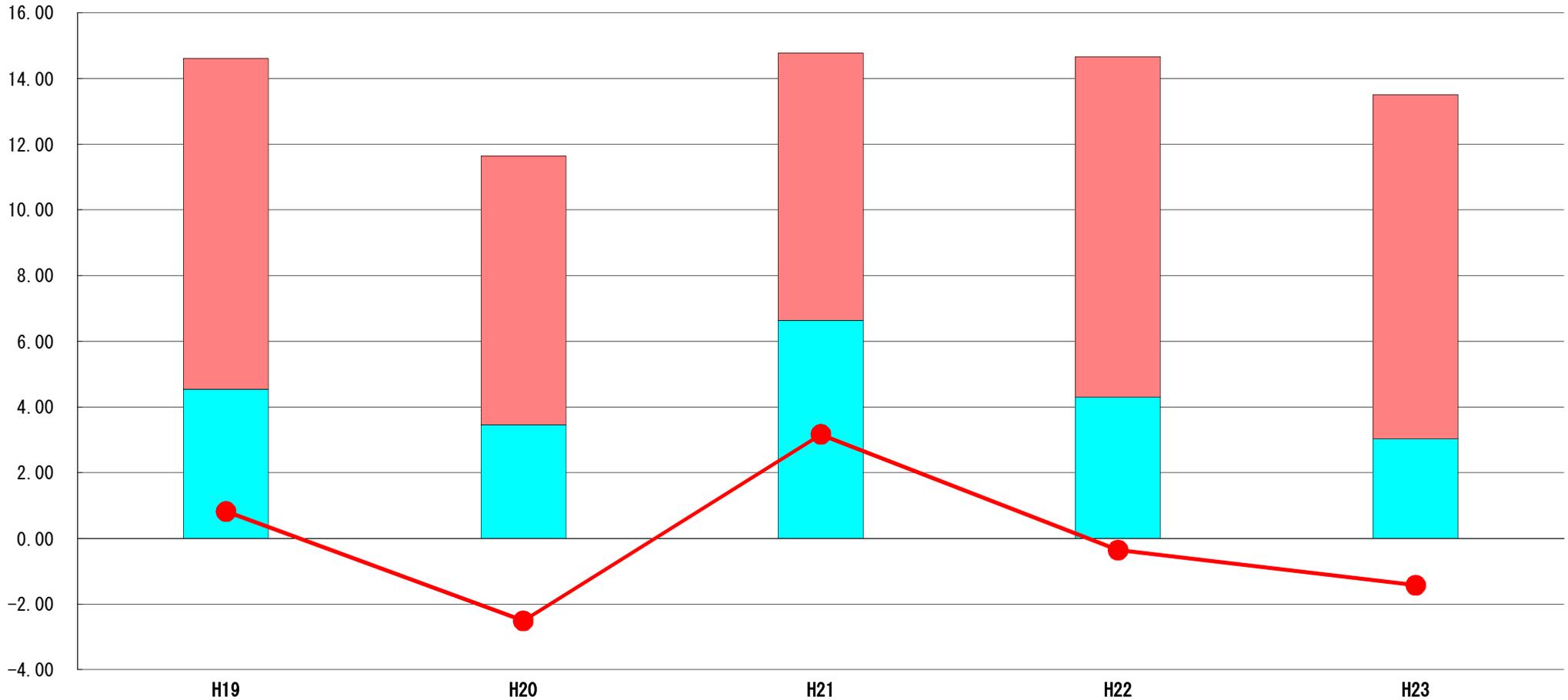
	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額				
		当該団体(円)	増減率(%) (A)	類似団体平均(円)	増減率(%) (B)	(A)-(B)
H19	14,580,921	31,866	17.6	31,404	3.0	14.6
うち単独分	8,850,588	19,343	▲ 4.0	20,611	1.4	▲ 5.4
H20	16,729,427	36,344	14.1	35,872	14.2	▲ 0.1
うち単独分	6,393,280	13,889	▲ 28.2	21,259	3.1	▲ 31.3
H21	15,407,201	33,375	▲ 8.2	38,349	6.9	▲ 15.1
うち単独分	7,791,253	16,877	21.5	22,585	6.2	15.3
H22	15,455,781	33,526	0.5	37,688	▲ 1.7	2.2
うち単独分	8,099,774	17,569	4.1	22,661	0.3	3.8
H23	17,352,673	37,832	12.8	38,606	2.4	10.4
うち単独分	10,152,777	22,135	26.0	22,435	▲ 1.0	27.0
過去5年間平均	15,905,201	34,589	7.4	36,384	5.0	2.4
うち単独分	8,257,534	17,963	3.9	21,910	2.0	1.9

(5) 実質収支比率等に係る経年分析（市町村）

平成23年度

千葉県市川市

標準財政規模比（%）



標準財政規模比（%）

区分	年度	H19	H20	H21	H22	H23
財政調整基金残高		10.08	8.18	8.14	10.38	10.47
実質収支額		4.53	3.45	6.63	4.29	3.03
実質単年度収支		0.82	▲ 2.51	3.16	▲ 0.36	▲ 1.43

分析欄

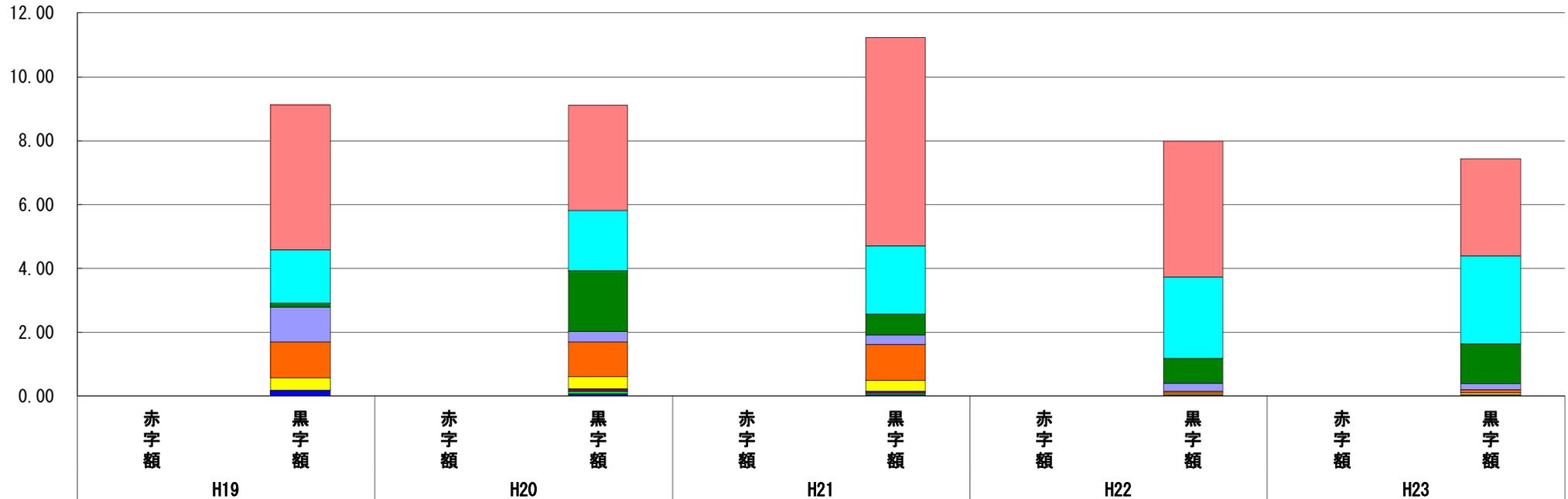
23年度は年度途中に多額に生じた契約差金等を活用して土地開発基金保有の土地を買い戻す費用に24億7千万円を補正予算にて計上したほか、必要な事業に活用した。このことにより、実質収支額が10億3千万円減少し、22年度に比べ実質収支比率が1.3ポイント減、実質単年度比率もマイナスとなった。実質収支比率は前年度比でマイナスとなったが、適正な範囲内の数値となっており、今後も適切な予算執行に努め、数値の保持を図る。

(6) 連結実質赤字比率に係る赤字・黒字の構成分析（市町村）

平成23年度

千葉県市川市

標準財政規模比（%）



標準財政規模比（%）

会計	年度	H19	H20	H21	H22	H23
一般会計		4.54	3.29	6.52	4.27	3.03
病院事業会計		1.66	1.88	2.13	2.54	2.76
国民健康保険特別会計		0.13	1.90	0.65	0.77	1.25
下水道事業特別会計		1.09	0.33	0.30	0.25	0.19
市川駅南口地区市街地再開発事業特別会計		1.13	1.10	1.13	0.07	0.10
介護保険特別会計		0.38	0.37	0.34	0.04	0.06
介護老人保健施設特別会計		0.01	0.07	0.06	0.03	0.03
後期高齢者医療特別会計		-	0.09	0.05	0.02	0.01
その他会計（赤字）		-	-	-	-	-
その他会計（黒字）		0.18	0.07	0.04	0.00	0.00

分析欄

23年度は各会計とも黒字となったため、連結赤字比率の構成もすべて黒字となっている。今後とも各会計が健全な財政運営を図ることにより、赤字を生じさせないよう努めていく。

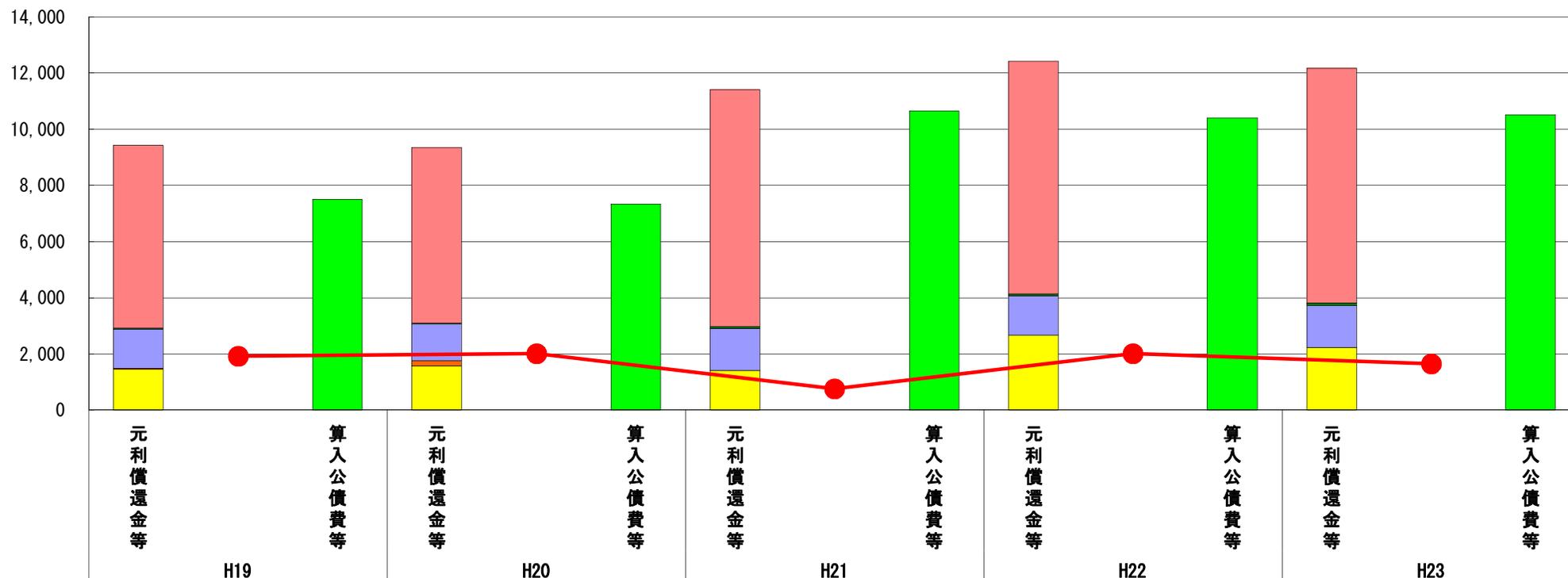
※平成24年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく連結実質赤字比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

(7) 実質公債費比率（分子）の構造（市町村）

平成23年度

千葉県市川市

(百万円)



(百万円)

分子の構造		年度	H19	H20	H21	H22	H23
元利償還金等 (A)	元利償還金		6,491	6,244	8,420	8,276	8,351
	減債基金積立不足算定額		-	-	-	-	-
	満期一括償還地方債に係る年度割相当額		33	50	67	83	83
	公営企業債の元利償還金に対する繰入金		1,408	1,293	1,497	1,392	1,490
	組合等が起こした地方債の元利償還金に対する負担金等		28	185	-	-	-
	債務負担行為に基づく支出額		1,456	1,582	1,412	2,669	2,236
	一時借入金の利子		-	-	-	-	-
算入公債費等 (B)	算入公債費等		7,499	7,342	10,639	10,409	10,512
(A) - (B)	実質公債費比率の分子		1,917	2,012	757	2,011	1,648

分析欄

23年度は、東京ベイ・浦安市川医療センター整備事業補助金の債務償還に伴う支出の増などにより、実質公債費比率の分子は3億6千万円減少している。
これに伴い、実質公債費比率は前年度比0.3ポイント増の2.0%となり、良好な水準で推移している。
今後も、償還費用が財政を圧迫することのないよう、将来債務を累増させない範囲で市債の活用を努め、数値の保持を図る。

※平成19年度決算と平成20年度決算の元利償還金は特定財源の額を控除しており、満期一括償還地方債に係る年度割相当額は減債基金積立不足算定額を含んでいる。

※平成21年度決算以降の算入公債費等は特定財源の額を含んでいる。

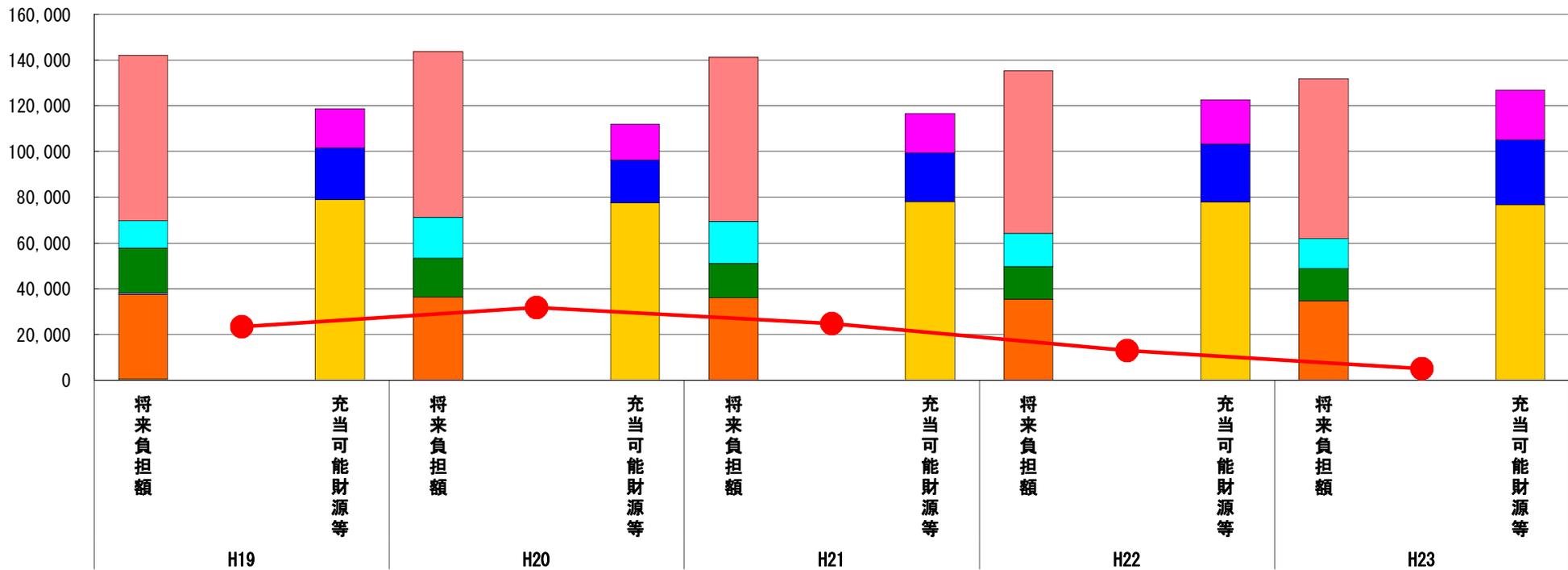
※平成24年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

(8) 将来負担比率（分子）の構造（市町村）

平成23年度

千葉県市川市

(百万円)



(百万円)

分子の構造		年度	H19	H20	H21	H22	H23
将来負担額 (A)	一般会計等に係る地方債の現在高		72,304	72,356	71,657	71,076	69,782
	債務負担行為に基づく支出予定額		12,122	18,034	18,430	14,416	13,288
	公営企業債等繰入見込額		19,357	16,854	15,090	14,345	14,017
	組合等負担等見込額		808	-	-	-	-
	退職手当負担見込額		36,875	36,337	35,999	35,396	34,609
	設立法人等の負債額等負担見込額		521	19	16	49	40
	連結実質赤字額		-	-	-	-	-
	組合等連結実質赤字額負担見込額		-	-	-	-	-
充当可能財源等 (B)	充当可能基金		16,845	15,621	17,130	19,277	21,664
	充当可能特定歳入		22,697	18,759	21,327	25,212	28,288
	基準財政需要額算入見込額		79,004	77,517	78,064	77,919	76,786
(A) - (B)	将来負担比率の分子		23,440	31,703	24,672	12,874	4,998

分析欄

将来負担額は、23年度の地方債償還額に対し、新規借入額が少なかったことから地方債残高が13億円減、また地域コミュニティゾーン整備事業用地の償還等により、債務負担行為に基づく支出予定額が11億円減となったこと等を要因として35億円減少した。充当可能財源等は、土地開発基金保有の土地を買い戻したこと等に伴い、充当可能基金が24億円増加したことや、都市計画税の充当率が大幅に上昇したこと等に伴い充当可能特定歳入が30億円増となったこと等を要因として43億円増加した。以上により、将来負担比率の分子は79億円減少したことから、将来負担比率は前年度よりもさらに低下し、良好な水準を維持している。今後も財政運営が圧迫されることのないよう、各種債務の的確な把握に努めるとともに、充当可能財源等のさらなる確保に努め、実質的な将来負担額の抑制を図っていく。

※平成24年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく将来負担比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。